



宇都宮大学 学長
進村 武男

宇都宮大学は、学生の教育を最も重要な役割と考えています。そのために、「幅広く深い教養と実践的な専門性を身につけ、未来を切り開く人材を育成」することを目標に掲げ、教養教育と専門教育を有機的に結びつけた優れた4年一貫教育を通して、さまざまな教育の改革・改善を行っています。

特に、教育の透明性を高め、養成する人材像や、そこに至る教育の道筋を具体的に示すことは極めて重要であると考えています。すなわち、本学を学びの場として選ばれる受験生、到達目標に対して今どこを学んでいるのかを確認したい在学生、本学の卒業生を人材として求められる社会に対して、どの視点からでも教育の全貌をはっきりと見通せる必要があるからです。そして、このことは国立大学法人として果たすべき当然な説明責任でもあります。

本冊子は、宇都宮大学において提供される全ての学士課程の教育プログラムについて、どのような学生を、どのような教育によって、どのような人材に養成するかを明示した“教育プログラムのシラバス”であり、主に専門教育の姿を浮き彫りにした内容になっています。これに加えて、教科の学習内容にとどまらず具体的な到達目標や成績基準を明示した“教科のシラバス”と、達成目標がどの教科によってどのように達成されるかを一覧表にした“到達目標確認マトリックス”とを合わせ見ることによって、本学の学士課程教育の姿が一層明確に浮きあがってきます。

この冊子が、宇都宮大学の教育プログラムを正しくお伝えする役割を十分に果たすと共に、学内にあっては今後の教育改善の中核として、さらに内容が充実したものに進化し続けていくことを願っています。